

緑の風

2013年12月 vol.2 (通算53号)

■ 発行:緑が浜小学校 P.G.T.

■ 編集:広報ボランティア

■ 所在地:茅ヶ崎市緑が浜1-1

vol.2



緑小の広報誌は「緑の風」です。
これから、よろしくお願い致します!

『選考理由』

応募タイトルはどれも素敵なものばかりでした。ありがとうございます。
実は、なかなか決まりませんでした。

話し合いの結果、「緑の風」は、心地よい浜風、爽やかな海風が学校や地域に吹き抜けていき、ここに緑の旋風を巻き起こし活性化していくというイメージが湧き、これからの緑小にぴったり、ということになりました。



校長先生からのコメント

緑小は今年度ボランティア数も大幅に増え、広報ボランティアも立ち上がり、開校当時の熱い思いが戻って来たような追い風を感じています。まさに緑の風が吹いている感じ。この風を掴んで、今後の緑小がさらに良くなるように、保護者の皆さんと力を合わせて、頑張っていきたいです。

みんなの感想
広報誌についての、素敵な感想をお寄せ下さりありがとうございます。

今回はカラーで驚きました。運動会の写真は良く撮れていました。

巨大壁画のことも今回初めて知りました。私の知らない学校での出来事を知ることができ、ありがとうございました。

つづ<=>

ありがとうございます!記念すべき復活号でしたのでカラー作成が実現しました。巨大壁画、興味を持って読んで頂けて良かった♡巨大壁画に携わっている先生(ピンク色が大好きでダンス教育に熱意のある...)にお話を伺ったところ、とても丁寧かつとても楽しそうに、嬉しそうにお話して下さいました。ああ、そうかあ。先生方も楽しんで活動して下さいからこそ、子供達は興味をかき立てられて積極的に取り組むのだからあって感じました。

とってもおもしろかったです!!写真もたくさんあり、子どもがうつっていたので本人、とても喜んでいました。

広報ボランティアの方々、センスあります!!(´・`)とても見やすい。

ありがとうございます!お子様にも喜んでもらえて嬉しいです。もし良かったら、ずっと取っておいて頂いてたまぁに眺めると、良い思い出になるかなあ、と(笑)。カラーだと写真が見やすくて良いですね。

**保護者禁制!!
あの行事の
正体に迫る**

音楽会

11月21日

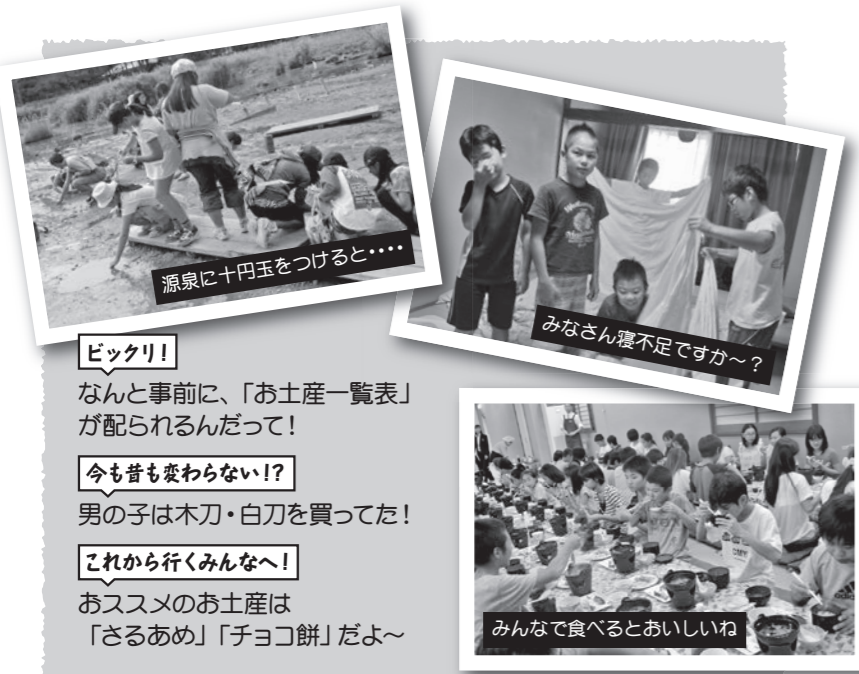
茅ヶ崎・寒川地区の小学校24校が茅ヶ崎市民文化会館に集まり、合唱を披露しました。
参加校が8校ずつ3部に分かれ、緑小の6年生は1部の最後8番目に登場。舞台上立ちたくさんの観客の前でスポットライトを浴びた瞬間、緊張で足が震えたと言う子どもたち。何度も練習した歌「変わらないもの」。20日に全校生徒の前で披露し、たくさんのエールをもらい気持ちを一つにしました。
歌い終わった時、客席にいた、指導に当たった大宮先生から大きなOKサインをもらい、満面の笑みで帰ってきました。



6年 修学旅行

9月18日〜19日・日光

待ちに待ったこの日。修学旅行専用列車に乗り、日光に行ってきました。たくさん見た滝の中でも圧巻だった華厳の滝。事前に学習しグループで回った日光東照宮。残念ながら輪王寺や陽明門は工事中だったけれど、9年に一度しか見ることのできない鎮将夜叉を拝むことが出来ました。
一日目、消灯時間後に見回りに行く、バタバタドタドタと音がして寝たふりをしてた、今も昔も変わらないな〜と先生が笑いながら話してくれました。
みんな、何話してたの〜!!



ビックリ!
なんと事前に、「お土産一覧表」が配られるんだって!
今も昔も変わらない!?
男の子は木刀・白刀を買ってた!
これから行くみんなへ!
おススメのお土産は「さるあめ」「チョコ餅」だよ〜



年に一度のお祭りデーだ!!

12月8日 緑小祭り

1・2年生はお客さん。3〜6年生は学年もしくはクラスでお店を開き、お店の仕事とお客さんを交代で行います。どの学年も1カ月以上前から案を練り準備をしたかがあり、景品も仕掛けも仕切りも、アイデア豊富で本格的で、大盛況でした。
緑小にはまだまだまた素敵な行事がありそうです!!

5年 キャンプ

10月24日〜25日↓台風のため延期
11月10日〜11日・足柄

皆で話し合って決めたキャンプの目標は「やる気」「協力」「笑顔」でつながろう!
キャンプの決まりは「あいさつしよう」「話を聞こう」「五分前行動しよう」
台風で日程が延期になり、延期になった当日も雨が心配なお天気でしたが、野外炊飯、キャンプファイヤー、フォークダンス、スタンツ、ナイトハイク、全で行う事が出来ました!



到着の日は雨でお昼は室内で。
火を見ると野生が呼び覚まされる!
ナイトハイクはドッキドキ!
朝食のメインはホットドック
タイムタイムの歌の最後の部分は何て言ってるか知っていますか?
「マイムレッサッセ?」「マイムエッサッサ?」「マイムベッサンコ」「マイムベッサンコ」と記憶している人もいらっしやるようで(笑)
正解は「マイムベッサンソン (mayim be-sasson)」
「マイム・マイム」(Mayim Mayim)とは、乾燥した開拓地で水を掘り当てて人々が喜びを歌ったイスラエルの楽曲。旧約聖書の一節「あなたがたは喜びをもって、救いの井戸から水をくむ」がそのまま歌詞として用いられているそうです。
「水だ 水だ 水だ 水だ、水だ!嬉しい!」との日本語訳があるそうです。

スタンツってなに?
もとは19世紀末にアメリカの大学で自己の身体能力を試すような運動形式をさし示す体操用語として使われ始めた俗語で、本来は「妙技やく離れた」を意味しているそうです。ボーイスカウトやガールスカウトではキャンプファイヤーで行う寸劇や出し物(隠し芸、ダンス、動作付きの歌、演奏)の意味で使われているようです。

とても素敵な広報誌。楽しく読ませて頂きました。写真も多く、文章も親しみやすい感じで気楽に読めました。広報の方の心意気がヒシヒシ伝わってくる一冊だったと思います。これだけのものを作るのは大変な仕事だと思いますが、ぜひとも引き続き頑張ってください!!「タイトルに懸ける想い」の様な学年間で比べるものが面白かったです。ランキングコーナーなども見てみたいです♡

ありがとうございます!素敵な広報誌を、素敵な保護者の皆様にお届けできて良かったです♡心意気、ひしひし伝わっちゃいましたか?引き続き頑張っていきたいと思っていますので、ぜひお付き合いください。「タイトルに懸ける想い」楽しんで頂けて良かったです。我が子の学年以外のことって知る機会がありませんから、全学年をこんな風に見渡すと新たな発見があって楽しいですね。

色使いがきれいで、とても楽しい広報誌でした。写真も沢山あり、学校の様子や運動会の様子がわかり、素晴らしい広報誌です。

ありがとうございます!復活号ということで少し贅沢仕様になっておりました。写真も沢山使って、子供達の学校生活をお届けしました。また、普段は見過ぎてしまっていることもお知らせできたらなあとの思いで各記事を作成しました。

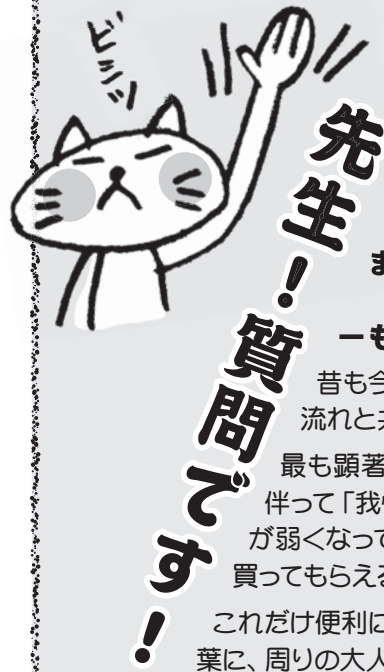
素晴らしい広報誌でした。写真がたくさんあって見て楽しい。各学年便りのタイトルや課題や目標などもとても良かったです。PGT役員の紹介もいいですね

ありがとうございます!見やすい写真だと、臨場感も伝わってきてわくわくしますね。各学年便りのタイトル、課題と目標も、先生方の熱い思いがくと伝わってきましたね。子供達はこんな風に熱意やサポートを受けて育っていくんですね。PGT役員の紹介は、いずれ掲載予定です。お楽しみに。

同通信、素晴らしい。保護者の団結、協調、奉仕と子供達の健やかな成長、笑顔、がんばり、チャレンジが伝わってきます。この広報通信が全ての祖父母にも見て頂けるよう工夫したいですね。さらにGパワーも力になると思います。

ありがとうございます!団結、協調、奉仕…改めて言葉にして頂くと、なんだか凄いことのように感じて、ドキドキです。子供達の健やかな成長、笑顔、がんばり、チャレンジを支えられるのは幸せなことですね。今後も大いにGパワーに助けて頂き、出来る人が出来る範囲で出来ることを、無理せず担って行けたら良いですね。今後ともよろしくお願致します。





シリーズ第2回目、質問は、皆さまからお寄せ頂いたアンケートの中から選ばせて頂きました。
答えて下さるのは、教師生活37年目、三瓶教頭先生です。



三瓶教頭先生

『現代の子どもたちと数十年前の子どもたち。
今も変わらないところ、逆に変わってきているところはどこですか？
また、それに対して親が求められることは何ですか？』

—もったいないを合言葉に—

昔も今も、子どもの本質は変わっていないと信じていますが、時代の流れと共に色々な影響が出ている事は確かです。

最も顕著なのは、耐える力が弱まっているという事でしょうか!? コンビニエンスストアが拡大するに伴って「我慢」する事が少なくなり、欲しい物がすぐ手に入るため、逆に物への執着や大切にす気持ち弱くなっている気がします。また100円ショップで、安価に買える物が増えたために、無くなったらすぐ買ってもらえるという感覚が強くなり、折り紙一枚でも雑な使い方している様子も見受けられます。

これだけ便利になっている世の中で「我慢」を教える事は至難の業だと思いますが、「もったいない」を合言葉に、周りの大人達が、何をどのように我慢させ、その我慢が、その子の満足感につながるように配慮する必要がありますのではないかと痛感しています。

やはり大人から、便利さの陰に隠れている危険を察知する事が大切だと思います。



直撃!
みんなの保健室

←保健室・伊藤真弓先生

伊藤先生は今年度赴任されたんですね。
緑小の印象はどうですか？

—低学年から高学年まで、とても優しくて人なつっこい子が多いと感じました。みんなよく声を掛けてくれるんですよ。

—あら、伊藤先生も優しくて人なつっこそうですね。
保健室に来る子は、どんな理由が多いですか？

—どの学校もそうだと思いますが、打撲が一番多いですね。あ、でも、緑小は新しい学校だからか、角が丸みを帯びていたり、ケガのしにくい造りになっていますね。
大きなケガはもちろん、ケガの件数自体も他校より少ないと思います。

—そうなんです! 初めて知りました。そんな工夫があったんですね。
ケガ以外で気になる事はありますか？

—寝不足で頭が痛い、疲れて休みたいと言ってくる子たちが気になりますね。でも、遊んでいてという訳ではなくて、習い事がハードでとか、塾の宿題が終わらなくてとか、頑張っている結果なんです。

—期待に応えようとして…ですが。なんか考えさせられちゃいますね。
—そうですね。子どもの様子をきちんと見て、時々、生活習慣を見直してほしいと思います。

—話は変わりますが、学校のAEDはどこに設置されているんですか？
—体育館に入ってすぐ左側にあります。もし何かあった時は誰でも使うことができますし、近隣で事故があって必要な場合などは貸し出しもできます。私を含め職員は講習を受けていますので、声を掛けて下さい。

—ありがとうございました。最後に子どもたちに一言お願いします。
—ケガしたお友達に付き添ってくる子、心配して来る子、どの子もみんな思いやりと優しい気持ちを持っています。その気持ちを忘れず、いつまでも持ち続けてほしいです。

編集後記

今回の広報紙はいかがでしたか? (^o^)/ 新しい名前も決まり、頂いた感想に励まされての、今号。広報ボランティア一同、楽しみつつもご期待に応えるべく作成しました。子供たちの活動、指導し見守る先生や職員の方の事を知り、緑小をもっと身近に感じて頂けたらいいな♡ 今回は発行時期のために見送った記事もあり、次号に向けて準備中です。今後とも、温かいご支援をよろしくお願い致します m(_ _)m 今井・宅見・中本



楽しく読ませて頂きました。広報誌に対して親近感がわき、VOL2はどんな内容なのか?ワクワクします。

ありがとうございます! 親近感! わきましたか? 嬉しいです! ハードルが高くなっちゃったなあ(笑) 今回はどうでしたか? 楽しく読んで頂けたら幸いです。

とてもとても楽しかったです。シリーズとして今後も取り上げてもらいたい記事がいくつもありました。それは「先生! 質問です!」と「誰でもできるP.G.T. 役員」です。あと、表紙が素晴らしいとそれだけで中身を読みたくなりました。次回の表紙は「ふれあいコンサート」で全校生徒が作ってくれたひまわり畑だといいなと思います。

ありがとうございます! そして、シリーズ化へのご期待、ありがとうございます。紙面の都合上、なかなか全号でのシリーズ化が難しいようです。が、検討中です。まずは季節シリーズ化をして広報誌に季節感を醸し出せれば(笑) これからの課題と言うことで大切に温めていきたいと思います。表紙についてのリクエストもありがとうございます。構成上、どうなっているのか、今の段階ではわからないのですが取り上げることができたら良いなあと思います。せっかくの子供達の作品ですからね♡